

THE NEWS SAISEI



発行所

社会福祉法人 済生会
東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング21F
電話 03-3454-3311
FAX 03-3454-5576

https://www.saiseikai.or.jp/

ニュース済生

秋篠宮皇嗣殿下ご訪問

埼玉・加須病院 お心遣いに職員感激



ハイブリッド手術室をご視察の秋篠宮皇嗣殿下。原澤支部長(左)と長原院長(右)

済生会総裁・秋篠宮皇嗣殿下が9月13日、(埼玉)加須病院をご訪問に...

今年6月1日に移転新築した。地上7階建ての免震構造で、低侵襲手術支援ロボット・ダビンチやハイブリッド手術室などを整備...

今年6月1日に移転新築した。地上7階建ての免震構造で、低侵襲手術支援ロボット・ダビンチやハイブリッド手術室などを整備...

高松宮記念基金にご協力ください

令和4年1月~9月分実績

Table showing financial performance of Takamimiyama Memorial Fund, including membership and fund raising statistics.

転倒・転落防止に加えスタッフの業務負担軽減にも貢献していると説明した。また、スタッフのPHSをスマートフォンに変更...

置が併設されたハイブリッド手術室と小林裕・副院長が操作する「ダビンチXi」を、救命救急センターでは速水宏樹・センター長の案内で救急ワークステーションを見学された。

第9回理事会が10月11日に本部で開かれた。9日に本部で開かれた。協議事項は1件、報告事項は5件だった。

解消済生会の基本的あり方に関する検討会報告書②新型コロナウイルス感染症に関する本会の対応③第2期中期事業計画進捗状況(令和3年度通期)④本会施設の経営状況報告(4~8月)⑤令和4年度上半期資金運用状況報告(総務課)

利益率年1%：16指標 3期中期事業計画案

済生会の今後10年間の事業方針を示す「基本的あり方報告書」を受け、令和5年度から5力年で実施する第3期中期事業計画の骨子(素案)が本部から示され...

これら諸施策の遂行を可視化するため、無料低額診療10%達成施設100%など16の指標が設けられている。

施設運営委員会が9月27日、本部で開かれた。審議3件、協議1件、報告6件だった。

Advertisement for the 10th Symposium on Life Poverty Issues in Kitakami, featuring a photo of a park and text about community support.

Advertisement for a community event titled 'For a vibrant region', listing speakers like Ito Shigeaki and sponsors.

実習医学生WG設置へ

医師臨床研修専門小委

医師臨床研修専門小委員会が9月15日、本部で開かれた。議題は①臨床実習医学生の受け入れ②全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ(SWS)の開催③初期研修医のための合同セミナー等の開催の3件だった。

臨床実習医学生の受け入れは、医師法改正で、医学者が臨床実習で行なう医学的法的措置が明確化されることを踏まえ、済生会における臨床実習医学生の受け入れを協議していく。



第47回SWSは、感染症対策を講じて3年ぶりに対面実施。大きなトラブルもなく開催できたことが報告された。今回は

初めてeラーニングを導入。事前学習の効果が発揮され、受講者の負担も軽減されることから次回以降も導入することになった。次回は11月26、27日に大阪市で開催予定。済生会学術・総会に合わせて開催される「初期研修医のための合同セミナー」と臨床研修管理担当者研修会」は、感染症対策をしっかりと講じたうえで予定通り開催する。(事業推進課)

次世代指導者研修 20病院の医師21人参加

22年度済生会全国次世代指導者研修が9月2、3日に本部で開かれ、20病院から医師21人が参加した。新型コロナウイルスの影響で20年1月以来、約2年半ぶりの開催。

この研修は先行き不透明な環境下、組織の進む方向性を指し示すリーダーの育成が目的。多様性の意義・活用、リーダーシップ、コーチングなどの知識等に関するグループワーク形式で行なった。済生会病院におけるリーダーシップの実践例として、全国済生会病院院長の園田孝志会長(唐津病院院長)と同会人材開発部の登谷大輔部長(福井県済生会病院院長)が「環境変化に対応し、組織改革を推進するリーダーシップ」と題して特別講演。

この研修は先行き不透明な環境下、組織の進む方向性を指し示すリーダーの育成が目的。多様性の意義・活用、リーダーシップ、コーチングなどの知識等に関するグループワーク形式で行なった。済生会病院におけるリーダーシップの実践例として、全国済生会病院院長の園田孝志会長(唐津病院院長)と同会人材開発部の登谷大輔部長(福井県済生会病院院長)が「環境変化に対応し、組織改革を推進するリーダーシップ」と題して特別講演。

メールサービスの利用を審議した。国内外でEmoetと呼ばれるマルウェアに感染した「なりすましメール」の被害が多数報告されている。マイクロソフト社のクラウド型メールサービスを本部・支部・施設で運用し、セキュリティを強化する案が事務局から提示された。委員からは、メールアドレスの運用やアカウントの管理等について質問があったが、審議の結果、原案通り承認された。また、令和5年度末にシステムの更新を予定する「経営情報システム」の契約内容や活用を協議。事務局から現行の利用料負担を一律ではなく、利用していない病院は機能を制限し、利用料を低減する案が提示された。委員からは、病院から集めたDPCデータ等の活用方法を議論すべきといった意見があった。システムの更新は承認されたが、データベースの活用や病院へのフィードバックを検討することとなった。

その他、医療情報システム保守契約管理ツールの提案やIT投資の現状調査の結果を報告した。(情報管理課)

クラウド型メール 基盤の構築を審議 情報化推進委員会が10月4日、本部で開かれ、済生会共通のクラウド型メールサービスの利用を審議した。

メールサービスの利用を審議した。国内外でEmoetと呼ばれるマルウェアに感染した「なりすましメール」の被害が多数報告されている。マイクロソフト社のクラウド型メールサービスを本部・支部・施設で運用し、セキュリティを強化する案が事務局から提示された。委員からは、メールアドレスの運用やアカウントの管理等について質問があったが、審議の結果、原案通り承認された。また、令和5年度末にシステムの更新を予定する「経営情報システム」の契約内容や活用を協議。事務局から現行の利用料負担を一律ではなく、利用していない病院は機能を制限し、利用料を低減する案が提示された。委員からは、病院から集めたDPCデータ等の活用方法を議論すべきといった意見があった。システムの更新は承認されたが、データベースの活用や病院へのフィードバックを検討することとなった。

その他、医療情報システム保守契約管理ツールの提案やIT投資の現状調査の結果を報告した。(情報管理課)

新任施設長の抱負

〈茨城〉特別養護老人ホーム龍ヶ岡



昭和36年生まれ。茨城県出身。60年早稲田大学卒、茨城県入庁。県立医療大学事務局長、県人事委員会事務局長を経て、令和4年4月龍ヶ岡副施設長、10月施設長に就任。「当施設は特別養護老人ホーム、デイサービス、ショートステイ、居宅介護支援事業等を行なっています。『あたたかさ』と『思いやり』のある、心やすらぐ介護を行なうとともに、専門機能を活用し、『地域社会の福祉向上に貢献』するという理念に基づいて、ご利用者の安全と安心して利用できる生活環境の確保、地域とのよりよい信頼関係の構築に努めてまいります」

ブロック会議

近畿・愛知 ハイフレッド119人

近畿ブロック会議が9月9日、名古屋マリオットアソシアホテルで開かれ、炭谷茂理理事長はじめ支部・施設役員119人が参加した。新型コロナウイルス感染症防止のため、合同会議と基調講演は、分科会ごとに分かれた各会場へ配信。合同会議は本部から支部未設置県解消等済生会の基本的なあり方に関する検討会報告書などについて報告があった。基調講演は、産業医科大学の松田晋哉教授が「これからの医療提供体制の展望」と題しコロナを踏まえた今後の地域医療構想のあり方について語った。

社・介護施設長」の5分科会を開催。「新型コロナウイルス感染症対策」「職員の働き方改革」等の取り組みについて活発な意見交換がされた。

来年度の開催は、京都府済生会に決定した。(愛知県済生会 支部事務局長 和栗慎司)



中四国・鳥取 オンラインで110人

中四国ブロック会議が9月16日、オンラインで開催された。炭谷茂理理事長と施設役員110人が参加した。はじめに、「支部責任

者会」「医療施設長会」「看護部長会」「病院事務局長会」の4分科会を開催。医療施設長会では外来医療機能再編やコロナ収束後の対応を、病院事務局長会では診療報酬改定への対応や決裁業務の電子化について議論した。続いて「老健施設長会」「老人福祉施設長会」「訪問看護長会」の3分科会を実施。各施設の人材確保・人材育成の取り組みや課題について意見交換を行なった。(境港総合病院 済生記者 坂本佑太)

九州地区・福岡 価格高騰・DXを議論 第59回済生会九州地区ブロック会議が9月30日、リーガロイヤルホテル小倉(福岡県北九州市)で開催され、炭谷茂理理事長、支部・施設役員64人が参加した。はじめに「支部会を

高騰への対応やDXの取り組みなどについて議論が交わされた。その後、「院長部会」「看護部長部会」「事務(部)長部会」「福祉施設長部会」「訪問看護ステーション部会」の5分科会を開催し、働き方改革への対応や人材育成など、各施設の取り組みや課題について意見交換を行なった。

来年度の担当は(宮崎)日向病院に決定した。(八幡総合病院 済生記者 川崎浩司)

はじめに「支部責任者会」を開催、エネルギー価格

高騰への対応やDXの取り組みなどについて議論が交わされた。その後、「院長部会」「看護部長部会」「事務(部)長部会」「福祉施設長部会」「訪問看護ステーション部会」の5分科会を開催し、働き方改革への対応や人材育成など、各施設の取り組みや課題について意見交換を行なった。

来年度の担当は(宮崎)日向病院に決定した。(八幡総合病院 済生記者 川崎浩司)

寄贈

- 東京都済生会 小倉律子殿 100万円 (中央病院へ)
- 滋賀県済生会 松並修司殿 100万円 (ケアポート栗東へ)
- 奈良済生会 持田成典殿 100万円 持田妙子典殿 50万円 (御所病院へ)
- 11月の予定 6日 済生会フェア(広島)
- 9日 11日 アドバンス・マネジメント研修Ⅳ(本部)
- 12日 第10回生活困窮者問題シンポジウム(岩手)
- 16日 ソーシャルインクルージョンシンポジウム(東京)
- 25日 支部事務責任者会議(愛知)
- 26日 27日 全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ(大阪)

「あした」は、ナニイロ?

鹿島のしごと。それは「あした」をつくること。人と自然と向き合って、よりよい毎日をつないでいくこと。暮らしを描く、ものづくり。無限の創造力で、彩り豊かな未来へ。

100年をつくる会社 **鹿島**

いついかなる時も、いちばんそばに。

安心と安全で、社会を支える。それが1879年から変わらない、私たちの約束です。万が一に遭った時の「いざ」はもちろん、新しく挑戦する時の「いざ」まで、「いついかなる時も」頼りになりたい。目指すのは、お客さまを最もよく知り、「いちばんそばに」寄り添う存在です。だからこそ私たちは、もっと一人ひとりに向き合います。人とデジタルの力を合わせ、リスクの対応だけでなく、リスクの予測・予防を通じて、「いついかなる時も」お役に立ち続けます。リスクを知り尽くしたプロフェッショナルとして、人生のあらゆる「いざ」を支える存在へ。いついかなる時も、いちばんそばに。東京海上日動の新しい決意です。

To Be a Good Company **東京海上日動**